

# インターパリテーション、話す以外の伝える方法は…

公益社団法人日本環境教育フォーラム 理事長 川嶋直

キーワード：インターパリテーション、話す以外の伝え方

## あなたのインターパリテーションは、「話す」以外に どんな「伝え方の工夫」をしていますか？

上記について下記を見ないで、自分でどんなチャレンジをしているか具体的に書き出してみましょう。

※当日は皆さんの書き出したものを整理して共有します  
※以下は、川嶋の頭の中を整理したものです  
※言うまでもありませんが「正解」ではありません

## インターパリテーションの成果・ねらいとは何か？

(持続可能な社会つくりに向けて、参加者の…)

意識（価値観）が変わる  
行動が変わる  
(分かる～できる～やる) (わかる～かわる)

## どうしたら、そうなるか？

IP（インターパリター：以降同）から発せられる…

言葉が見える化されている  
記憶できるような工夫がなされている  
短いフレーズになっている  
シンプルなメッセージになっている  
人に教えたくなるようなメッセージになっている  
IPの存在そのものにメッセージを語っている  
参加者と関係のあるテーマになっている

## IPがやらないほうが良いことは

だらだらと長く話す  
言葉が全く見える化されていない  
IPの思い（思い入れ）が強すぎて聞き手に引かれてしまう  
イマ・ココにないものばかり話す（～だったら話：晴れてたら、もう少し季節が早かったら…）  
IPの個性が強すぎてIPの印象ばかり強く残り、肝心のメッセージ（伝えたい内容）が伝わらない

## 伝えるための様々な工夫1（主に直接的な方法）

### 【見せる工夫】

言葉を見せる  
地図を見せる  
年表を見せる  
写真を見せる  
イラストを見せる  
実物を見せる  
タブレットなどの端末を使う  
五感で感じてもらう（聴く、触る、臭う、味わう）

### 【参加・体験してもらう工夫】

質問する（考えてもらう）  
クイズを出す（三択等）  
探してもらう  
表現してもらう（造形、絵、俳句、詩等など）  
一人になってもらう  
数人で対話してもらう

### 【IPの存在そのもので伝える】

そこに居るだけで何も話さなくてもメッセージが伝わる。（むしろ話さないほうが良い）

## 伝えるための様々な工夫2（主に間接的な方法）

文章で伝える（本、雑誌、SNS）  
イラスト・絵で伝える（同上）  
動画で伝える（SNS）

## IPの大切な「こころがけ」

聞き手は楽しみを期待して来ている（学ぼうと思ってきている訳ではない）  
聞き手は何も知らない（IPにとっての「当たり前」は捨てる）  
自分の持っている知識と経験だけで勝負しようと思わない→資源と参加者を味方に付ける